

別紙－ 3 （ 2 1 ）

考査項目別運用表

(検 査 員)

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d
		全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	建築工事 (新築工事) (改修工事) (解体工事)	●評価対象項目 ☐ きめ細かな施工がなされ、取合いの納まりや端部までの仕上がりが良い。 ☐ 関連工事（工種）又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 ☐ 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。 ☐ 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。 ☐ 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。 ☐ 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。 ☐ 保全に配慮した施工がなされている。 ☐ その他 理由：_____ ☐ 出来ばえが劣っている（該当すれば d 評価とする。） ●判断基準 該当項目が 90%以上・・・a 該当項目が 80%以上 90%未満・・・b 該当項目が 80%未満・・・c ① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝（評価数／対象評価項目数）×100 ④ 評価対象項目数が 2 項目以下の場合は、全て該当しても c 評価とする。 ※1. 全体的な仕上がり状態、機能进行评估する。 ※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。 ※3. 評価すべき建築工事・機械設備工事等・電力設備工事等が 2 工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳により加重平均する。また、評価をしない付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は 1.0 とする。 2 工種以上の複合工事の場合 建築 評価値 % × 工事比率 % + 電気 評価値 % × 工事比率 % + 機械 評価値 % × 工事比率 % = 評価値 %			
	機械設備工事 暖冷房衛生設備工事 機械設備工事 暖冷房衛生設備工事	●評価対象項目 ☐ きめ細やかな施工がなされている。 ☐ 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 ☐ 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 ☐ 環境負荷低減への対策が優れている。 ☐ 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 ☐ その他 理由：_____ ☐ 出来ばえが劣っている（該当すれば d 評価とする。） ●判断基準 該当項目が 90%以上・・・a 該当項目が 80%以上 90%未満・・・b 該当項目が 80%未満・・・c ① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝（評価数／対象評価項目数）×100 ④ 評価対象項目数が 2 項目以下の場合は、全て該当しても c 評価とする。 ※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設備工事をいう。 ※2. 全体的な仕上がり状態、機能进行评估する。 ※3. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。 ※4. 評価すべき建築工事・機械設備工事等・電力設備工事等が 2 工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳により加重平均する。また、評価をしない付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は 1.0 とする。 2 工種以上の複合工事の場合 建築 評価値 % × 工事比率 % + 電気 評価値 % × 工事比率 % + 機械 評価値 % × 工事比率 % = 評価値 %			

考査項目別運用表

(検 査 員)

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d
		全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている
3. 出来形 及び出来ばえ III. 出来ばえ	電気設備工事 受変電設備工事	●評価対象項目 ☐ きめ細やかな施工がなされている。 ☐ 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ，調和が良い仕上がりである。 ☐ 機器又はシステムとして，運転状態が正常であり，性能が優れている。 ☐ 環境負荷低減への対策が優れている。 ☐ 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 ☐ その他 理由： ☐ 出来ばえが劣っている（該当すれば d 評価とする。） ※1. 全体的な仕上がり状態，機能を評価する。 ※2. 出来ばえの評価は，全体的な仕上がり状態，形状，配置及び関連工事との調和，目的物としての機能などについて，観察，計測等により技術的な評価を行う。 ※3. 評価すべき建築工事・機械設備工事等・電力設備工事等が 2 工種以上複合している工事については，それぞれの工種毎に評価し，工事費内訳により加重平均する。また，評価をしない付帯工事を含む場合は，主要工事で評価するものとし工事比率は 1.0 とする。 2 工種以上の複合工事の場合 建築 評価値 % × 工事比率 % + 電気 評価値 % × 工事比率 % + 機械 評価値 % × 工事比率 % = 評価値 %			

考査項目別運用表

(検 査 員)

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形 及 び 出 来 ば え III. 出来ばえ	ほ場整備工事	●評価対象項目 ☐ 田面，畦畔の仕上げが良好である。 ☐ 湧水に対しての対策が適切になされている。 ☐ 構造物のとおりが良い。 ☐ 田面高が均一である。 ☐ 全体的な美観が良い。 ☐ 構造物からの漏水がほとんど無い。 ☐ 既設構造物とのすりつけが良い。 ●判断基準 該当 6 項目以上・・・a 該当 5 項目・・・・・・b 該当 4 項目・・・・・・c 該当 3 項目以下・・・d ① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は，評価すべき項目の場合にチェックし，評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として，比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝（評価数／対象評価項目数）×100 ④ 評価対象項目数が2 項目以下の場合は，全て該当しても c 評価とする。			
	ため池整備	● 評価対象項目 【共通】 ☐ 仕上げが良い。 ☐ 天端仕上げ，端部仕上げ等が良い。 ☐ 止水に対する適切な対応がなされ変状がない。 ☐ きめ細かな施工がなされている。 ☐ 全体的な美観が良い。 【築堤工関係】 ☐ 構造物等へのすりつけが適切に行われている。 ☐ 法面保護の材料のかみ合わせが良い，また植生等の状態が均一である。 ☐ 土取場の整理，残土等は適切に処理されている。 【取水施設工・洪水吐工関係】 ☐ コンクリート構造物の表面状態が良い。 ☐ コンクリート構造物の通りが良い。 ☐ 構造物等にきめ細かな施工がなされている。 ☐ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 ☐ 操作設備の総合的な機能，運転性能が優れている ●判断基準 評価区分は， 8 0 %程度以上を「a」とする 6 0 ～8 0 %程度を「b」 4 0 ～6 0 %程度を「c」 4 0 %程度以下を「d」 ※ 工事費に占める割合が単独工種で5 0 %を超える場合は，その工種単独で評定する。 ※ 単独工種で5 0 %に満たない場合は，工事費割合の大きい順に5 0 %を超えるまで，複数の工種を選定し総合的に評定する。 ① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は，評価すべき項目の場合にチェックし，評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として，比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝（評価数／対象評価項目数）×100 ④ 評価対象項目数が2 項目以下の場合は，全て該当しても c 評価とする。			

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d		
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている		
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	農林道開設工事	● 評価対象項目 【土工事】 ☐ 仕上げが良い。 ☐ 通りが良い。 ☐ 天端及び端部の仕上げが良い。 ☐ 構造物へのすりつけなどが良い。 ☐ 規定された勾配が確保されている。 ☐ 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 ☐ 法面勾配の変化部について、緩衝部を設けるなど適切に施工されている。 ☐ 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 ☐ 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 ☐ 全体的な美観が良い。 【コンクリート構造物工事】 ☐ コンクリート構造物の表面状態が良い。 ☐ コンクリート構造物の通りが良い。 ☐ 天端仕上げ，端部仕上げ等が良い。 ☐ クラックが無い。 ☐ 漏水が無い。 ☐ 全体的な美観が良い。 【補強土壁（ジオキスタイル）工事】 ☐ 材料に細心の注意が払われている。 ☐ 通りが良い。 ☐ 材料のかみ合わせが良い。または，クラックがない。 ☐ 天端 端部の仕上げが良い。 ☐ 既設構造物とのすりつけが良い。 ☐ 全体的な美観が良い。 【コンクリートブロック等二次製品の多い工事】 ☐ 二次製品等材料に細心の注意が払われている。 ☐ 通りが良い。 ☐ 材料のかみ合わせが良い。または，クラックがない。 ☐ 天端，端部の仕上げが良い。 ☐ 既設構造物とのすりつけが良い。 ☐ きめ細かな施工がなされている。 【法面工事】 ☐ 通りが良い。 ☐ 植生，吹付等の状態が均一である。 ☐ 端部処理が良い。 ☐ 全体的な美観が良い。 【舗装工事】 ☐ 舗装の平坦性が良い。 ☐ 構造物の通りが良い。 ☐ 端部処理が良い。 ☐ 構造物へのすりつけ等が良い。 ☐ 雨水処理が良い。 ☐ 全体的な美観が良い。			●判断基準 評価区分は，８０％程度以上を「a」とする ６０～８０％程度を「b」 ４０～６０％程度を「c」 ４０％程度以下を「d」 ※ 工事費に占める割合が単独工種で５０％を超える場合は，その工種単独で評定する。 ※ 単独工種で５０％に満たない場合は，工事費割合の大きい順に５０％を超えるまで，複数の工種を選定し総合的に評定する。 ① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は，評価すべき項目の場合にチェックし，評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として，比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝（評価数／対象評価項目数）×100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は，全て該当してもc評価とする。 ※ ブロック積工とプレキャスト水路工が両方とも主要工種の場合等は，複写して別々に評定してください。		

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形 及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	農地海岸工事	●評価対象項目 ☐ コンクリート構造物の表面の状態が良い。 ☐ コンクリート構造物の通りが良い。 ☐ 天端仕上げ，端部仕上げ等が良い。 ☐ 有害なクラックがない。 ☐ 全体的な美観が良い。 ☐ 既設構造物とのすりつけが良い。 ☐ 石等のかみ合わせが良く，緩みがない。 ☐ 施工管理記録等から，不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 ●判断基準 該当 7 項目以上・・・a 該当 6 項目以上・・・b 該当 5 項目以上・・・c 該当 4 項目以下・・・d			
	パイプライン工事	●評価対象項目 ☐ 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえ（施設のとおり等）の良さが伺える。 ☐ 構造物・施設の表面に，傷・錆等がない。 ☐ きめ細やかな施工がなされている。 ☐ 舗装復旧の状況が良い。 ☐ 全体的な美観が良い。 ●判断基準 該当 4 項目以上・・・a 該当 3 項目以上・・・b 該当 2 項目以上・・・c 該当 1 項目以下・・・d			

別紙－ 3 （ 2 6 ）		考査項目別運用表				(検 査 員)
考 査 項 目	工 種	a	b	c	d	
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
3. 出来形 及び 出 来 ば え III. 出来ばえ	管布設工事	●評価対象項目 ☐ 管体及びポリエチレンスリーブに損傷がないことが確認できる。 ☐ 土木構造物との調整が十分なされている。 ☐ 公共物としての安全性，環境及び維持管理への配慮が良い。 ☐ 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。		●判断基準 該当 4 項目以上・・・a 該当 3 項目以上・・・b 該当 2 項目以上・・・c 該当 1 項目以下・・・d		
	傾斜板工事	●評価対象項目 ☐ 仕上り状態が良く，全体的な美観に優れている。 ☐ 土木構造物との調整が良い。 ☐ きめ細かな施工がなされている。 ☐ 公共物としての安全性，環境，維持管理への配慮が良い。		●判断基準 該当 4 項目以上・・・a 該当 3 項目以上・・・b 該当 2 項目以上・・・c 該当 1 項目以下・・・d		
	ポンプ設備工事	●評価対象項目 ☐ 仕上り状態が良く，全体的な美観に優れている。 ☐ 施工管理記録等から，不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 ☐ 異常な振動・騒音がなく動きもスムーズで総合的な機能，運転性能が優れている。 ☐ 公共物としての安全性，環境，維持管理への配慮が良い。 ☐ 溶接・塗装・組立等細部にわたる配慮が良い。		●判断基準 該当 5 項目以上・・・a 該当 4 項目以上・・・b 該当 3 項目以上・・・c 該当 2 項目以下・・・d		
	ろ過池補砂工事	●評価対象項目 ☐ 仕上り状態が良い。 ☐ 平坦性が良い。 ☐ きめ細かな施工がなされている。 ☐ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当 4 項目以上・・・a 該当 3 項目以上・・・b 該当 2 項目以上・・・c 該当 1 項目以下・・・d		

考査項目別運用表

(検 査 員)

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ III. 出来ばえ	下水道管渠工事 （開削工）	●評価対象項目 □ コンクリート構造物の肌が良い。 □ 構造物のとおりが良い。 □ 天端仕上げ，端部仕上げ等が良い。 □ クラックがない。 □ 漏水がない。 □ 全体的な美観が良い。 ●判断基準 該当 5 項目以上・・・a 該当 4 項目・・・・・・b 該当 3 項目・・・・・・c 該当 2 項目以下・・・d			
	下水道管渠工事 （推進工）	●評価対象項目 □ コンクリート構造物の肌が良い。 □ 構造物のとおりが良い。 □ 天端仕上げ，端部仕上げ等が良い。 □ クラックがない。 □ 漏水がない。 □ 全体的な美観が良い。 ●判断基準 該当 5 項目以上・・・a 該当 4 項目・・・・・・b 該当 3 項目・・・・・・c 該当 2 項目以下・・・d			
	上水道工事	●評価対象項目 □ 管の通りが良い。 □ 弁栓類の設置位置が適切である。 □ 弁栓類及び鉄蓋の傾き，ガタツキがない。 □ 弁栓類の操作，維持管理に支障がない。 □ 舗装の平坦性が良く，人孔蓋等へのすり付けが良い。 □ 全体的な美観が良い。 ●判断基準 該当 5 項目以上・・・a 該当 4 項目・・・・・・b 該当 3 項目・・・・・・c 該当 2 項目以下・・・d			